

京 佛



京都市 大報恩寺 国宝 木造地藏菩薩立像

一般財団法人 京都仏教会

鳳首杯

「ほうしゅはい」

これか

日中平和友好条約45周年記念

世界遺産

大シルクロード展

THE GREAT SILK ROAD WORLD HERITAGE EXHIBITION

2024 11.23 [土・祝] **sat** - **2025 2.2** [日] **sun**

入場料金(税込)：一般 / 1,600円(1,400円) 大高生 / 1,000円(800円) 中小生 / 500円(300円)

※1)内は前売および20名以上の団体料金 ※前売り券は2024年9月20日(金)~11月22日(金)までの期間限定販売(会期中は当日券のみ)
 ※美術館は無料(ただし、観覧券を同時) ※学生料金で入場の際は学生証を提示してください
 ※観覧券は観覧券を提示し、観覧券を提示しない場合は観覧券を提示してください
 ※観覧券は観覧券を提示し、観覧券を提示しない場合は観覧券を提示してください
 (ただし催事により別途料金が必要な場合があります。)

主催：京都府、京都文化博物館、中国文物交流中心、毎日新聞社、京都新聞、MBSテレビ / 共催：京都市
 企画協力：黄山美術社、企画：東京富士美術館

休館日：月曜日(ただし祝日は開館、翌平日休館)
 12月28日(土)~1月3日(金)
 開室時間：10:00~18:00(毎週金曜日は19:30まで)
 ※入場はそれぞれ開室の30分前まで

THE MUSEUM OF KYOTO 京都文化博物館
 〒604-8188 京都市中京区三條高倉
 TEL.075-222-0888 FAX.075-222-0889
 www.bunpaku.or.jp

理事長報告

左右逢源

さゆうみなもとにあう

臨濟宗相国寺派管長

理事長 有馬 頼 底



と信教の自由についても具体的に研究を重ねました。加えて福祉活動、府市行政や関係省庁、京都府・近畿宗教連盟や全日本仏教会、日本宗教連盟等との諸団体関連会議の活動も積極的に展開致しました。

令和六年度の活動はおしゃかさまを讃える夕べの充実と、春秋彼岸供養法要、採燈大護摩供、成道会等の仏教諸行事を滞りなく執行しつつ、政治に於いては一昨年末、旧統一教会問題について「被害者救済法案」が可決成立致したことを受け、当会では宗教と社会実践センターに於きまして、令和五年度のテーマとして一年をかけ、創価大学東洋哲学研究所と当会との共同研究として「旧統一教会問題と信教の自由」について考究し、研究本を発刊。本年度は引き続き田中滋龍谷大学名誉教授（社会学学）と野田正彰札幌医大名誉教授（精神医学）による「旧統一教会問題、信仰の実態と政治」一教会問題、信仰の実態と政治」研究本発刊に向け鋭意取り組んでおります。加えて、キャッシュレス拝観のシステム研究、北陸新幹線延伸問題、京都の景観問題についても取り組んで参ります。

ます。

当会に於きましても昨今の社会状況に鑑み、諸々経費削減に具体的に取り組んでおりますが、様々な事業、研究に支障をきたすことなく粛々と執行して参る所存であります。

本年も信教の自由・政教分離の原則を重んじ、各宗教とも情報交換を行い、各識者の方々とより積極的に交流を行って参ります。

左右逢源

さゆうみなもとにあう

この場合の「左右」というのは、よく腹心の部下が左右にはべるとか言いますが、一番身近なところという意味です。つまり、はるか遠い向こうのことではなくて、本当に右や左の日常的な周辺のこと、私たちの生活圏の中のことで、さらにはごく日常的な行動、一挙手一投足ということであります。

それが源に逢う、すなわち本源にかなう、本文を見失わないという事です。何でもない一挙手一投足、普通の日常的な行為が、そのまますべての源に適合して、仏法の本源に

かなっているということ。つまり、どんな行動をしていても、仏道からはずれない、極端なことを言えば、くしゃみをしても何をしても仏法にかなっている。そういう境地に達すること、それが「左右逢源」です。

それならば、何をしても「左右逢源」か、ということになります。人を殺しても、人のものを盗んでも仏作仏行か、と言えば、それは大きな間違いです。すべての行動が本源にかなうためには、仏法の大道を会得しなければなりません。そして、ひとたび大道を会得した人間は、けっして道にはずれたことはいないのです。

ですから、何をしてもいいのではなくて、何をしてもすべてが道にはずれていないということです。それが「左右逢源」なのです。

各位に於かれましては、当会の諸行事、諸事業、諸問題への活動趣旨をご理解賜り、令和六年度の当会へのご協力、ご援助を例年同様賜りますようお願い申し上げます。何卒宜しくお願い申し上げます。

合掌

謹啓

時下ご清祥の御事と存じ上げます。平素は何かとご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、令和五年度は、例年の宗派を超えた仏教諸行事の執行、宗教と社会実践センターに於ける「宗教法人非課税の根拠」をテーマにした研究会の実施と並行して、キャッシュレス社会



仏教とは
「人々を無心になって安心へ導く教え」
「経済」は、無心になって、ひたすら人々を救う事
「経営」は、経済を無心になって、ひたすらに営む事

曹洞宗 洞雲禅窟 湯谷山福泉禅寺三十六世 中興開山
曹洞宗 丹山法窟 霊松山苗秀寺十七世東堂 中興 大谷俊定

ある葬儀会場で、僧侶が正面に向かつて、木魚を強い力で叩きながら、必死になってお経をとこなしている葬儀に会葬いたしました。耳をつんざくような強い打撃音にいささか耳を塞ぎたくなる思いでしたが、慣れてくると何だか無心に引き込まれている自分に気が付きました。また、念仏が始まると、誰からともなく次々と口ずさみ、たちまち大合唱となり、「成仏してや」との願い、祈りの雰囲気になりました。お経の意味は分からなくても、お経の挙げ方によって聴いている人々が「無心の世界」へ引き込まれるものだなあ、と関心しました。遺族親族や会葬者の多くが、真剣に手を合わせている姿を見て、ここに「無心の行」としての姿を見せつけられました。法要が終わり、会場を後にする会葬者の顔には、安堵感ともれる清々しさがありました。我欲で生きている私たちの日々に、改めて「無心」の大切さを教えられたひと時でした。

いる人を支え合い、励まし合うこと、すなわち社会環境（僧サング）の醸成がとても大切ですね。地域に役立つお寺として「心の散策道場」をスローガンに昭和六十年、墓苑を開設しましたが、併せて念願であった参道を整備し、天災地変が発生した時には、檀信徒、並びに地域の方々の避難場所としてお寺を開放できないか。鉄骨二階建ての客殿を新建設、既存の灌漑用水池を整備し、地域に火災発生時に対応すべく貯水量を十倍とし、五百坪の駐車場も隣地に設置。仮設住宅用地とすることも可能。二ヶ所の井戸は飲用、洗濯などにも利用可能。かまどを整備し、割り木も数日間分は保有しています。市水道や電気が使用できなくなつた時の対応をもう少し考えておかねばなりません。環境整備として、「亀岡のもみじ寺」として心の観光、月例坐禅会、ヨガ教室などを実施、又、観て楽しむ意識経典「心ウキウキ花のお経」を出版、布教化の一助としての寺報や護持会報の発行を続けています。

「日本人は世界で最高の人格者」と言われている

「日本人は世界で最高の人格者」と言われる要因は慈悲心、思いやりの心でしょうし、評価信頼の原点となっているのでしょう。

さらには、古来から大切に守られてきた仏陀の教えを日々の生活の心得に活かしてきた事です。つまり、脳の前頭葉をしっかりと教育し育てることがとても大切なのです。前頭葉は後発の部位であり、本能の影響をほとんど受けない部分です。前頭葉を正しく育てなければ、その人の人間性が育たないのです。その第一に、わが身を大切にすることは、他を思いやる温かな慈悲心をしつかり心に育てて行動することです。そこに安心感があるのです。

長年、更生保護活動に携わってきた者として、常に気を付けて来たことは、いかに被害者の立場、現況に心を馳せるかという事と共に、加害者自らの人間性を見出し、その人の人生に自信をしつかり持たせることを大切にしていまいりました。そのことは、まさに仏道実践そのものであります。僧侶はま

さに人々を善導し、生き甲斐を見出させるか、という大切な仕事を与えられているのです。

古来、仏師の中には、毎朝、お滝に打たれたり、井戸水を頭から被って無心になり、心身を清めてから仏像彫刻に精を出したという伝承を耳にしました。そのような伝承を胸にした時、当山に祀られている「天照皇大神雨寶童子尊像」とその館「愛染堂の大改修」を京都仏教会のご推挙により京都府の伝統工芸技継承事業として認証して頂き、見事に完工して頂きました。

技の継承とは、単なる技術の継承ではなく、併せて、心の継承が大切です。途中経過の作品や出来上がった作品を拝見したとき、まさに大切な心の継承を拝見させて頂きました。職人の方々の清んだ笑顔、作品の隅々に至る心遣いを拝見したとき、心から安堵感が感じられました。

なぜ、お寺に天照皇大神が祀られたのか。なぜ、境内の南東の方向に祀られてきたのか。そうかわかった!!

大日如来信仰は、まさに天照皇大神信仰なのでした。毎朝の日の出が心静かに順調に迎えられるこ

と、戦乱のない世の中、天災地変のない生活環境、しあわせな平和国家。それを毎朝祈願する。また、このことがブライトケアーの実践であり、身も心も健全、無心の仏道実践なのだということを感じました。

「天上天下唯我独尊」のみ教えは、私たちは皆、「この世にただ一つの命、一つの身体、一度の人生をもって生まれ出でて、生きていく。これを唯一無二の尊い存在である」ことを示されたお悟りの言葉であります。このことが誤解され、「釈迦の独断的発言」と示され、「大勢の中で自分一人が尊いと独りよがり」と、示されている辞書があります。これは大きな誤りであり、このような誤解を招く発言には、厳として訂正をしてもらわないと仏陀の意味がなくなり、この「唯我独尊」とは、カピラ城の王子ゴータマ・シッダルーダの誕生の発言ではなく、成道されたお釈迦さまの発言、つまり、「お釈迦さまの誕生、仏陀となられたお悟りの言葉」と理解することが大切です。誤解を解きたいですね。

戦乱の世であった当時のインドで、一人一人の命が粗末にされて

いた時代に、人生の大切さを実感されて強調された言葉でしょう。さらにお誕生後七日目に実母マーヤ王女が亡くなり、むなしさ、寂しき、儂さを背負って生きられたお釈迦さまなればの言葉でしょう。まさに、お釈迦さまとしての「無心の慈悲心に満ちた言葉」です。無心、無心、大無心、世界の平和、人々の心の安らぐ日々の生活を願われた心の底から悟られた言葉です。

「佛教は宗教なり」

レリジョンの翻訳語として「宗教」という言葉が充てられました。これも間違いであります。「レリジョン」は、「再び結びつく」という意味であります。

神の世界から縁を切った人類は、再び神の世界と縁を結びたいという意味です。佛教における「宗教」とは、本来の自己発見。目覚めるという意味です。それが仏陀、ブツダ・すなわち目覚めるという意味なのです。十九世紀になって、医学・科学は大発展をしました。それは、原因の究明が高度に発展したためと言われています。つまり、仏教でいう所の「因・縁・果」の究明が進化した事によるのです。

「空・0ゼロ」の発見

さらには遡る十六世紀のこれは、経済学、医学、科学、哲学などの発展に欠かせない絶対的な大きな要因となりました。ヘーゲル哲学は、この「空」の教えにより、「有論」を発表。ドイツ中世哲学を完成に導きました。

また、「0ゼロ」は、今日においては、「0と1」の組み合わせによるコンピューターに欠かせないものとなりました。

私たちの日々の生活、身近な電子機器、電化製品の発展も「空・0ゼロ」の教えなしには、なかったものと受け止めた時、お釈迦さまのみ教えの重大なこと、科学・医学・心理学・天文学など、身近なものから高度なものまで、多くの発展にお釈迦さまのみ教えなしには、考えられなかったことでしょう。ようし、発展発達もなかったことでしょう。

私たち僧侶は、此の大切な「無心」のみ教えを心得て、人々に伝承する毎日を送りたいものです。

東堂…住職退任者
中興…寺院を再興し、盛んにした者に与えられる称号

事業・活動報告

令和五年四月一日〜令和六年三月三十一日

*は当会主催の行事・会合

令和五年	四月十一日	花まつり「おしゃかさまを讀る夕べ」開催	於 ANAクラウンプラザホテル京都
*	四月十三日	福知山市仏教会会長自坊へ挨拶	於 養泉寺
*	四月二十八日	明日の京都文化遺産プラットフォームネットワーキング会議出席	於 相国寺承天閣美術館
*	四月二十八日	こども花まつり事業 仏教系保育園・福祉施設に菓子等寄贈	於 京都府庁
	四月二十八日	文化庁連携プラットフォームフォーラム定例会議出席	於 京都府庁
	五月 九日	吉田神社宮司澤井隆男師別式参列	於 公益社南プライトホール
	五月十八日	京都仏教幼稚園協会「花まつり園児大会」出席	於 ロームシアター京都
*	五月二十三日	宗教と社会研究実践センター第十四研究会開催(東洋哲学研究所共同開催)	於 京都府庁
*	五月二十四日	京都仏教会監査会開催	於 京都府庁
	五月二十七日	令和四年度宗教法人関係者人権問題研修会打合せ会出席	於 京都府庁
	五月二十九日	全日本仏教会第三十九回理事会WEB会議出席	於 京都府庁
	五月二十九日	京都府少年補導協会総会出席	於 京都府庁
	五月三十日	三千院御饗法講参列	於 三千院門跡宸殿
	五月三十一日	参勤僧会議開催	於 京都府庁
	六月 五日	京の七夕委員会幹事会出席	於 京都府役所
	六月 六日	中日平和友好条約締結四十五周年記念イベント「ドキュメンタリー『日本・中国の架け橋 趙樸初』」放映会及び中日 友好座談会出席	於 京都府役所
	六月十三日	文化庁連携プラットフォーム第一回ワーキング出席	於 ウェステイン都ホテル京都
	六月十四日	自然環境文化推進機構令和五年度理事会・総会出席	於 京都府庁
	六月十六日	明日の京都文化遺産プラットフォーム令和五年度理事会出席	於 即成院奥書院
	六月十九日	京都文化コンベンションビューロー第二十五回評議員会出席	於 立命館朱雀キャンパス
	六月十九日	京都仏教会常務理事会開催	於 ホテル日航プリンセス京都
	六月二十日	京都未来の匠「技の継承」事業の実施に係る専門家会議出席	於 聖護院門跡
	六月二十日	京都文化財団評議員会出席	於 京都府立府民ホール
	六月二十一日	明日の京都文化遺産プラットフォーム社員総会出席	於 立命館朱雀キャンパス
*	六月二十三日	京都仏教会令和五年度第一回定例理事会開催	於 相国寺承天閣美術館
*	六月二十三日	京都仏教会令和五年度第二回定例理事会開催	於 相国寺承天閣美術館
*	六月二十三日	京都仏教会令和五年度第一回定時評議員会開催	於 相国寺承天閣美術館
*	六月二十三日	宗教法人非課税の意味を中心としたQ&Aを発売 関連団体に送付	於 知床斜里町
	六月二十五日	知床例祭出席	於 知床斜里町
	六月二十六日	第四十九回京都中央葬祭業協同組合通常総会出席	於 ホテルグランヴィア京都
	六月二十九日	京都 I V S (スタートアップカンファレンス)会議講演会出席	於 京都芸術センター
	七月 三日	京都府宗教連盟令和五年度常任委員会出席	於 立正佼成会京都普門館
	七月 六日	文化庁連携プラットフォーム第二回ワーキング出席	於 京都府庁
	七月 十日	京都府技連の継承事業修繕事業に係る鞍馬現地調査	於 地蔵寺
	七月 十二日	日本宗教連盟・文化庁・共催 法人等による寄付の不当な勧誘の防止等に関する法律について及び「宗教法人の管理運営に関して説明会」(京都府 出席)	於 京都府庁
*	七月二十四日	綾部市仏教会新会長・園部町仏教会新会長へ挨拶	於 京都府庁
	七月二十五日	京都府宗教連盟令和五年度委員総会出席	於 仁和寺御室会館
	七月二十七日	参勤僧会議開催	於 順正
*	七月二十八日	法隆寺第七十三回夏季善光寺大勧進栢木寛照師講演出席	於 法隆寺
	八月 四日	文化庁連携プラットフォーム第三回ワーキング出席	於 京都府庁
*	八月 八日	「京仏」会報発送	於 京都府庁
	八月 九日	近畿宗教連盟令和五年度委員会出席	於 立正佼成会京都普門館
	八月三十日	明日の京都文化遺産プラットフォームネットワーキング会議	於 立命館大学朱雀キャンパス
	九月 三日	松井信五氏旭日雙光章(しょうこうしょう)受章を祝う会出席	於 ウェステイン都ホテル京都
	九月 五日	JR部会・京都観光宣伝協議会令和五年度総会出席	於 京都府役所
	九月 八日	文化庁連携プラットフォーム「きょうハレの日」記念式典出席	於 ウェステイン都ホテル京都
	九月 九日	京都市深草墓園秋季慰霊祭参列	於 ロームシアター京都
*	九月 九日	東寺音舞台開催	於 京都市深草墓園
	九月十一日	近畿宗教連盟令和五年度常任理事会出席	於 立正佼成会京都普門館
	九月十四日	令和五年度宗教法人関係者人権問題研修会北部開催出席	於 京都市福祉・教育総合プラザ
	九月十九日	花灯路推進協議会幹事会出席	於 京都市役所
	九月二十二日	中華人民共和国建国七十四周年祝賀会出席	於 ホテルニューオータニ大阪
*	九月二十四日	たなばた願文お焚きあげ・探燈大護摩供法要開催	於 清水寺南苑
*	九月二十八日	秋季彼岸供養法要開催	於 永観堂禅林寺
	九月三十日	日本移植会議公開シンポジウム出席	於 聖路加国際大学アリスホール
	十月 一日	京都市立芸術大学移転オープニングセレモニー出席	於 京都市立芸術大学
	十月 四日	文化庁連携プラットフォーム公開シンポジウム二〇二五年大阪・関西万博に向けた文化観光の推進について」出席	於 京都市立芸術大学

十月 六日	特別展「東福寺開創式・特別内覧会」開催	於 京都国立博物館 平成知新館	
十月 八日	真言宗立教開宗壹千二百年慶讃大法会参列	於 教王護国寺 金堂	
十月十六日	東大寺開山良弁僧正千二百五十年御遠忌慶讃法要行事参加	於 東大寺	
*	十月十八日	京都仏教会令和五年度第二回定例理事会開催	於 相国寺承天閣美術館
	十月二十日	のぞみ学園五十周年記念式典出席	於 ウェステイン都ホテル京都
	十月二十一日	相国寺開山夢窓国師每歳忌法要参列	於 相国寺
	十月二十七日	Art Collective Kyoto 内覧会出席	於 国立京都国際会館
	十月二十九日	義祖智証大師御正忌会参列	於 園城寺
	十月二十九日	明日の京都文化遺産プラットフォーム第十三回フォーラム	於 園城寺
	十月二十九日	「文化は社会の礎」参加	於 立命館大学朱雀キャンパス
*	十月三十日	宗教と社会研究実践センター第十五回研究会開催	於 相国寺承天閣美術館
	十一月 六日	(東洋哲学研究所との共同開催)	於 相国寺承天閣美術館
*	十一月 六日	「現在いまがある展」オープニング(十二日まで)出席	於 建仁寺
	十一月 十日	参勤僧会議開催	於 京都府庁
	十一月 十日	仏教クラブ創立六十周年事業「喜びの集い」出席	於 京都府庁
	十一月十三日	全日本仏教会第四十回理事会出席	於 真宗教化センターしんらん交流館
	十一月十四日	「現在いまがある展」開催(二十日まで)	於 泉涌寺
	十一月十四日	文化庁連携プラットフォームフォーラム食文化ワーキング出席	於 京都府庁
	十一月二十日	東京都宗教連盟 宗教法人運営実務研究協議会出席	於 京都府庁
	十一月二十日	問題 於 目白・東京カテドラル・関口会館	於 京都府庁
	十一月二十日	京都府宗教法人関係者人権問題研修会出席	於 京都府庁
	十一月二十一日	鹿苑寺開山夢窓国師每歳忌法要参列	於 ホテル日航大阪
	十一月二十一日	大阪府佛教徒大会出席	於 ホテル日航大阪
	十一月二十一日	京都中央葬祭業協同組合創立五十周年記念式典出席	於 ホテルグランヴィア京都
	十一月二十四日	福厳寺(佛心宗)訪問	於 福厳寺(愛知県小牧市)
	十一月二十七日	近畿宗教連盟京都総会出席	於 北野天満宮
	十一月二十九日	明日の京都文化遺産プラットフォームWEB会議出席	於 順正
	十二月 六日	毎日放送音舞台プロデューサー黒田氏葬儀参列	於 泉涌寺
*	十二月 六日	参勤僧会議開催	於 泉涌寺
*	十二月 七日	成道会並びに永年勤続住職表彰式開催	於 泉涌寺
*	十二月十七日	宗教と科学・技術懇話会出席	於 建仁寺
*	十二月十八日	常務理事会開催	於 建仁寺
*	十二月十九日	「青蓮院に想いを寄せて」京都文化遺産対談開催	於 京都府庁
	十二月二十日	明日の京都文化遺産プラットフォームWEB会議出席	於 京都府庁
	十二月二十日	文化庁連携プラットフォーム食文化ワーキング出席	於 京都府庁
	十二月二十三日	羅城門復活研究会・明日の京都羅城門再建支援委員会共催シンポジウム	於 立命館大学朱雀キャンパス
*	十二月二十六日	「歴史の記憶の地」復活の意義参加	於 立命館大学朱雀キャンパス
	十二月二十六日	永年住職勤続(五十年)表彰者長楽寺・住職遷化の為、長楽寺へ表彰状・記念品を持参	於 長楽寺(福知山)
令和六年	一月十七日	中国駐大阪総領事館新年会出席	於 中国駐大阪総領事館
	一月十九日	有馬理事長に文化庁都倉俊一長官が来訪	於 大光明寺
	一月二十二日	文化庁今泉柔剛審議官が佐分常務理事に面談	於 相国寺
	一月二十二日	家庭支援総合センターによる京都府内一時保護児童の第一回寺院拝観訪問	於 鹿苑寺
	一月二十四日	明日の京都文化遺産プラットフォーム企画調整委員会「新年会」出席	於 立命館大学朱雀キャンパス
	一月二十六日	京都指定有形文化財「長江家・重要文化財財訪問	於 立命館大学朱雀キャンパス
	一月二十九日	文化庁連携プラットフォーム食文化ワーキング出席	於 京都府庁
	一月三十日	池田大作氏お別れ会出席	於 ホテルニューオータニ
	二月 六日	文化庁今泉柔剛審議官来訪	於 京都府庁
*	二月 八日	京都仏教会令和五年度第三回定例理事会開催	於 相国寺承天閣美術館
*	二月 八日	宗教と社会研究実践センター委員会開催	於 相国寺承天閣美術館
	二月 十日	京都中央葬祭業協同組合新年会出席	於 リーガロイヤルホテル京都
	二月十四日	全日本仏教会第四十一回理事会WEB会議出席	於 京都府庁
	二月十七日	国際宗教研究所設立七十周年記念シンポジウム出席	於 京都府庁
	二月二十日	明日の京都文化遺産プラットフォーム世界遺産ネットワーク会議出席	於 立命館大学朱雀キャンパス
	二月二十日	有馬理事長に前門川市長が退任のご挨拶に来訪	於 大光明寺
	二月二十一日	福知山市仏教会新会長に挨拶及び技の継承現地調査	於 長安寺・醍醐寺
	二月二十六日	全日本仏教会加盟団体顧問弁護士連絡会出席	於 東本願寺
	二月二十六日	参勤僧会議	於 京都府庁
	二月 五日	亀岡市仏教会「涅槃会」法要参列	於 京都府庁
	三月 九日	京都市深草墓園春季慰霊法要参列	於 京都市深草墓園
	三月 十一日	文化庁連携プラットフォームシンポジウム「京都ならではの食文化 振興を考える」参加	於 京都府庁
	三月 十一日	有馬理事長に大日本印刷 北島専務が来訪	於 大光明寺
*	三月十二日	春季彼岸供養法要開催	於 相国寺
*	三月十四日	キャッシュユース拡大会議開催	於 相国寺
*	三月十五日	参加寺院八ヶ寺(金剛寺、銀閣寺、相国寺、清水寺、東寺、平等院、青蓮院、聖護院)	於 相国寺
*	三月十八日	北陸新幹線大阪延伸計画鉄建公団説明会出席	於 京都府庁
	三月二十二日	建仁寺西来院落慶法要並びに記者会見出席	於 建仁寺西来院
	三月二十二日	蘭溪道隆禪師来日伝法記念シンポジウム参加	於 京都府庁
	三月二十五日	明日の京都文化遺産プラットフォーム若手部会ワークショップ事業参加	於 比叡山延暦寺 延暦寺会館
*	三月二十七日	京都仏教会令和五年度第四回定例理事会開催	於 相国寺承天閣美術館
*	三月二十七日	京都仏教会令和五年度第二回定時評議員会開催	於 相国寺承天閣美術館
	三月三十日	明日の京都文化遺産プラットフォーム無形文化遺産シンポジウム「わからない、からはじめる百人一首」振り返ればそこにある、先人からの贈りもの」参加	於 立命館大学朱雀キャンパス

(単位：円)

Table with 5 columns: 款項目, 科目, 予算額, 決算額, 増減. Rows include categories like 渉外旅費, 諸会議費, 活動経費, etc.

別紙の通り報告します。

令和6年5月22日 一般財団法人京都仏教会

理事長 有馬頼底
常務理事 宮城泰年
常務理事 佐分宗順
常務理事 坂口博翁
事務局 長 澤香静

帳簿、証票書類を監査の結果、別紙の通り相違ないことを確認しました。

令和6年5月22日 一般財団法人京都仏教会

監事 川村俊弘
監事 小澤昭美

令和5年度 一般財団法人京都仏教会決算報告書

前期繰越金 3,059,555円
当期歳入総額 65,988,861円
当期歳出総額 65,450,588円
次期繰越金 3,597,828円

自 令和5年4月1日
至 令和6年3月31日

【歳入の部】

(単位：円)

Table with 5 columns: 款項目, 科目, 予算額, 決算額, 増減. Rows include categories like 前期繰越金, 会費収入, 活動協力金収入, etc.

【歳出の部】

(単位：円)

Table with 5 columns: 款項目, 科目, 予算額, 決算額, 増減. Rows include categories like 事務局費, 人件費, 厚生費, etc.

令和6年度 事業計画

〈総務部〉

〈*は新規事業〉

6. 仏教諸行事	1. お花まつり・こども花まつり おしゃかさまをを讃える夕べは4/8開催 * 法楽・永観堂禅林寺 講演・冷泉貴実子氏
7. 合同慰霊行事	2. 採燈大護摩供法要・成道会 3. 京の七夕神仏合同法要（清水寺）9月第4日曜日に実施（本年は9月22日開催）
3. 寺院運営援助事業	1. 参加勤行（中央斎場の読経僧） 2. 深草墓園（京都府宗教連盟共催） 3. 春秋彼岸供養法要（春は3月・秋は9月執行予定）（京都中央葬祭業協同組合共催）
4. 広報・出版事業	1. 寺院援助活動 2. 寺院運営研修案内
5. 観光推進事業	1. 定期刊行物 2. 各種関連事業 3. 役員会・諸団体連絡会議
6. その他諸事業	1. 各種関連協議会
	1. 宗教法人の財務・税務及び法律対策（顧問弁護士・税理士の派遣） 2. 永年勤続住職の表彰（50年 知事表彰 30年 理事長表彰） 1. 人権研修会（京都府・全日仏） 1. 会報 年1回 2. 開運暦・図書紹介 1. 京都歴史遺産寺院企画（JR東海協賛） 2. 祇園白川ライトアップ事業 3. 京都府内北部・南部観光開発 * 4. インバウンド・オーバーツーリズム対策（京都府と連携） 1. 観光推進事業部会議 2. 京都市観光協会との会議 3. 各種観光関連業界との会議 1. 文化遺産を未来につなぐ森づくりの為の有識者会議 2. 外来種生物の文化財に与える影響について（関西野生生物研究所） 3. 明日の京都文化遺産プラットフォーム（立命館大学）

1. 諸会議	1. 役員会 2. 各種会議 3. 諸団体連絡会議	1. 理事会 年4回 2. 評議員会 年2回 3. 参事会 随時 1. 参勤僧会議 年2回以上 1. 全日本仏教会 2. 近畿宗教連盟 3. 京都府宗教連盟 4. 日本宗教連盟 5. 京都商工会議所 6. 京都市観光協会 7. 京都文化交流コンベンションビューロー 8. 東京都宗教連盟 9. 明日の京都 文化遺産プラットフォーム 10. 自然環境文化推進機構
2. 広報・調査	1. 広報 2. 調査	1. 会報の刊行 年1回 2. 会員への情報提供（随時）（税務・環境問題・法人問題など） * 3. 仏教会ホームページ運営（宗教と社会研究実践センターとの連携） 1. 各種調査・研究・統計・資料収集（時事問題の分析） 1. 慶弔（本山寺院及び一般関係） 1. 中央省庁・府市行政との交流（文化庁・観光庁・林野庁） 2. 京都にて開催の行事・国際会議等への協力
3. 渉外	1. 慶弔 2. 渉外	1. 慶弔（本山寺院及び一般関係） 1. 中央省庁・府市行政との交流（文化庁・観光庁・林野庁） 2. 京都にて開催の行事・国際会議等への協力
4. 時事対策	1. 組織強化	1. 加入寺院・未組織地域の組織化 2. 賛助会員強化

〈宗教と社会研究実践センター〉

1. 諸会議	1. 各種会議	1. 研究会 年2回 2. 運営委員会 随時 3. 関連団体との協議
2. 広報・調査研究・啓蒙活動	1. 広報 2. 宗教法人法の研究・啓蒙活動	1. 研究本の刊行 年1回 * 「旧統一教会問題・信仰の実態と政治」 1. 各本山、地方の教区での宗教法人法に関する研修会への協力 2. 包括宗教法人管理者研究協議会 宗教法人実務者研修会（文化庁）
3. 時事対策	1. 時事対策 2. 仏教の社会的課題	1. 寺院の厚生年金加入問題・持続化給付金問題 2. 寺院の「公益性」問題 3. 寺院拝観（キャッシュレス）システムの調査・研究・資料収集 * 1. 若手部会の創設

〈事業部〉

1. 仏教文化・調査・研究 広報	1. 仏教文化の啓蒙・広報・保護	1. 仏教文化の研究などの奨励・協賛 2. 京都文化財団との交流
2. 教化・伝道 事業	1. 仏教美術・文物紹介 2. 講演活動 3. 音舞台シリーズ 4. 仏教思想の実践活動	1. 仏教番組の企画監修（毎日放送において「京都知新」、「京都プロジェクト室」） 1. 各宗派管長による仏教文化講演会の全国開催 * 1. 本年度第37回は法隆寺にて開催予定 1. 地域福祉活動・青少年育成（授産施設「のぞみ学園」、福祉施設・仏教系老人ホーム、保育園への慰問） 2. カウンセリング（信仰問題・情報提供） 3. 文化財を守り伝える京都府基金・だいすき京都（京都市） 4. 災害募金箱の設置 1. 展覧会開催
	5. 国際文化交流	

(単位：円)

款項目	科 目	本年度予算額	昨年度予算額	備 考	
	5	借 館 費	1,887,600	1,887,600	事務所家賃
	6	水 道 ・ 光 熱 費	150,000	160,000	水道・電気
	7	旅 費 ・ 交 通 費	500,000	500,000	
	8	諸 会 負 担 金	600,000	600,000	全日仏・府宗連等
	9	顧 問 報 酬	1,350,000	1,350,000	弁護士・会計士・司法書士
	10	営 繕 管 理 費	20,000	50,000	
	11	そ の 他 諸 経 費	500,000	500,000	BK手数料を含む
	3	渉 外 ・ 旅 費	1,100,000	1,100,000	
	1	渉 外 費	800,000	800,000	
	2	慶 弔 費	100,000	100,000	
	3	交 際 費	200,000	200,000	
4	諸 会 議 費	450,000	450,000		
1	単 仏 ・ 参 勤 会 議	150,000	150,000		
2	そ の 他 諸 会 議	300,000	300,000		
5	調 査 費	200,000	250,000		
1	資 料 収 集 費	200,000	250,000	調査・研究を含む	
2	活 動 経 費	27,700,000	26,250,000		
1	教 化 伝 道 活 動	19,100,000	17,100,000		
1	参 加 勤 行	9,500,000	8,000,000	参勤僧10名法礼等	
2	彼 岸 法 要	1,400,000	1,400,000	年2回開催	
3	墨 蹟 展	200,000	200,000		
4	護 摩 木 供 養	600,000	600,000		
5	観 光 推 進	1,200,000	1,300,000	音舞台会所お礼を含む	
6	仏 教 諸 行 事 関 連	400,000	400,000		
7	花 ま つ り	5,100,000	4,500,000	こども花まつり・教化資料等寺院・福祉施設配布等含む	
8	成 道 会	300,000	300,000		
9	永 年 勤 続 表 彰	300,000	300,000		
10	国 際 文 化 交 流 費	100,000	100,000		
2	広 報 ・ 出 版 活 動	1,600,000	1,550,000		
1	暦 ・ 諸 出 版 他	100,000	200,000		
2	機 関 誌 発 行	1,300,000	1,300,000	年1回発行	
3	ホ ー ム ペ ー ジ 運 営 費	200,000	50,000		
3	宗 教 と 社 会 研 究 実 践 セ ン タ ー	4,400,000	5,000,000		
	「旧統一教会問題・信仰の自由」刊行費		3,000,000		
1	「旧統一教会問題・信仰の実態と政治」刊行費	3,000,000			
2	拝 観 シ ス テ ム の 調 査 ・ 研 究	200,000	200,000		
3	研 究 会 議 費	500,000	700,000	研究会2回開催	
4	旅 費 交 通 費	200,000	300,000		
5	研 究 諸 費 用	400,000	800,000	研究員顧問料他	
6	若 手 部 会 創 設 費	100,000			
4	そ の 他	2,600,000	2,600,000		
1	文 化 財 保 護 対 策 費	50,000	100,000	文化財の森等	
2	世 界 文 化 遺 産	1,300,000	1,300,000	JR東海対談企画等	
3	明 日 の 京 都 協 力 金	1,000,000	1,000,000		
4	蘇 る 羅 城 門 推 進 事 業 費	50,000	100,000		
5	時 局 対 策 金	200,000	100,000		
	予 備 費	92,400	52,400		
	歳 出 合 計	65,750,000	65,650,000		

令和6年度 予 算 書

当期歳入総額 65,750,000円

当期歳出総額 65,750,000円

自 令和6年4月1日

至 令和7年3月31日

【歳入の部】

(単位：円)

款項目	科 目	本年度予算額	昨年度予算額	備 考
1	会 費 収 入	2,600,000	3,200,000	
	1 会 費 ・ 賛 助 金	2,600,000	3,200,000	
	1 一 般 寺 院 会 費	2,000,000	2,400,000	¥2,000(1口)
	2 賛 助 会 費	600,000	800,000	¥3,000(1口)
2	活 動 協 力 金 収 入	32,450,000	31,750,000	
1	教 化 伝 道	29,600,000	28,900,000	
	1 参 加 勤 行	16,500,000	17,000,000	
	2 彼 岸 法 要	400,000	400,000	
	3 墨 蹟 展	1,000,000	1,000,000	
	4 護 摩 木 供 養	3,500,000	2,300,000	
	5 花 ま つ り	3,000,000	3,000,000	
	6 観 光 推 進	3,000,000	3,000,000	
	7 世 界 文 化 遺 産	1,300,000	1,300,000	
	「明日の京都」文化遺産プラットフォーム	900,000	900,000	
2	広 報 ・ 出 版	50,000	50,000	
1	開 運 暦	50,000	50,000	
3	宗 教 と 社 会 研 究 実 践 セ ン タ ー 協 力 金	2,800,000	2,800,000	
1	「旧統一教会問題・信仰の実態と政治」刊行協力金	2,800,000		
	「旧統一教会問題と信仰の自由」刊行協力金		2,800,000	
3	特 別 寺 院 協 力 金	30,640,000	30,640,000	
4	雑 収 入	60,000	60,000	
1	雑 収 入	60,000	60,000	
	1 預 金 利 息	10,000	30,000	
2	雑 収 入	50,000	30,000	
	預 金 取 崩			
	歳 入 合 計	65,750,000	65,650,000	

【歳出の部】

(単位：円)

款項目	科 目	本年度予算額	昨年度予算額	備 考
1	事 務 局 費	37,957,600	39,347,600	
1	人 件 費	30,100,000	31,300,000	
	1 職 員 俸 給	24,400,000	26,000,000	事務局員4名他1名
	2 厚 生 費	3,300,000	3,400,000	社会保険料等
	3 通 勤 費	900,000	900,000	
4	退 職 準 備 金	1,500,000	1,000,000	
2	管 理 費	6,107,600	6,247,600	
1	通 信 ・ 運 搬 費	300,000	300,000	郵便・宅配便等
2	印 刷 費	300,000	300,000	コピー機保守料他
3	備 品 費	300,000	300,000	什器・車両関係
4	消 耗 品 費	200,000	300,000	

能登半島地震と文化財の被害状況

2024年1月1日の午後4時10分ごろ、石川県能登半島で最大震度7の揺れを観測する地震が起きました。揺れだけではなく、津波や地盤の隆起により被害が拡大し、多くの建物が倒壊しました。その建物の中には文化財も含まれています。

区分	被害状況
国宝・重要文化財（建造物）	57件（登録総数：107件）
登録有形文化財（建造物）	158件（登録総数：1,004件）
その他国指定等文化財	62件
地方指定・登録文化財	120件

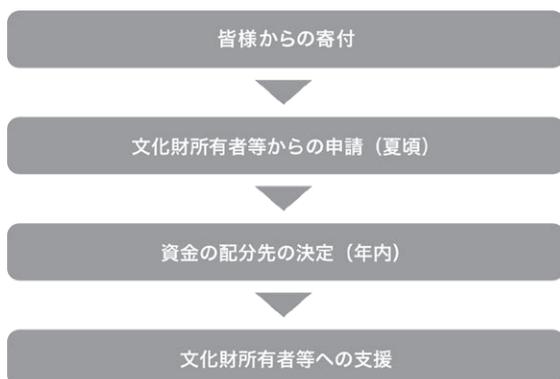
2024年3月21日現在。※最新の被害状況は、文部科学省HPをご確認ください。
https://www.mext.go.jp/a_menu/notohantoujisin/

皆様から届いた心温まるご支援は、被災した文化財所有者等に届けます。2024年の夏に文化財の復旧・復興が必要な文化財所有者等から申請を受け付けることを予定しています。その後、審査の上で配分先を決定し、支援金を届けます。

支援を決定した文化財の情報は、財団のウェブサイト等にて報告します。

<https://www.bunkazai.or.jp/90noto/>

※文化財所有者等からの申請を待たず、文化財の緊急保全等の支援に寄付の一部を充てる場合があります。また、本事業の運営に必要な経費については、寄付の一部を充てさせていただきます。



寄付の方法は3種類からお選びいただけます。

クラウドファンディング「READYFOR」のページから寄付をいただけます。また、クレジットカードなどでの寄付が難しい方のために郵便局と銀行からのご支援もお受けしています。文化財の救援、そして未来へつなぐためにご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

郵便振替	銀行振込	READYFOR (クラウドファンディング)
------	------	---------------------------

振替番号
00170-1-499266
加入者名
公益財団法人文化財保護・芸術研究
助成財団

三井住友銀行 上野支店
普通8399622
口座名義
公益財団法人文化財保護・芸術研究
助成財団
※銀行振込の場合、下記財団まで事前に御
連絡をいただけますと幸いです。

令和6年能登半島地震
文化財復興緊急支援 文化財サポーター
ーズ募集
<https://readyfor.jp/projects/90noto>

公益財団法人文化財保護・芸術研究助成財団
〒110-0007 東京都台東区上野公園12-50
TEL.(03)5685-2311 FAX.(03)5685-5225
<https://www.bunkazai.or.jp/>

文化財サポーターとは？

日本の文化財を次の世代につなげるために誕生した、官民共創による寄付促進事業です。寄付することを、ゴールではなく文化との新しいつながりのスタートに目指します。



令和6年能登半島地震 文化財復興 緊急支援



2024年1月1日、石川県能登地方を震源とする強い地震が発生しました。大きな揺れにより、有形無形問わず、さまざまな文化財約400件が大きな被害を受けました。

建造物はもちろん、工芸技術などの人の「技」、その土地に伝わり続ける伝統行事も大切な「文化財」です。

文化財は過去の出来事や生活様式を物語る証人としての役割を果たします。それによって、過去の人々の経験や教訓を学び、未来の世代へと知識を伝えることができます。また、地域の人の心を支えるアイデンティティでもあります。

連綿と受け継がれてきた文化を、子どもたちに、そしてさらに未来へと受け継ぐために。

本プロジェクトでは、高齢化や過疎化で修理費用を賄うのが難しい所有者が多い中、文化庁と文化財保護・芸術研究助成財団などが官民連携して、文化財を社会全体で支える仕組みをつくります。

寄付方法

郵便局振替、銀行振込、クラウドファンディングでお受けしています。
 詳細は右のQRコードを読み取るか、裏面をご覧ください。



※本プロジェクトへのご寄付は、寄付控除（税制優遇）の対象となります。

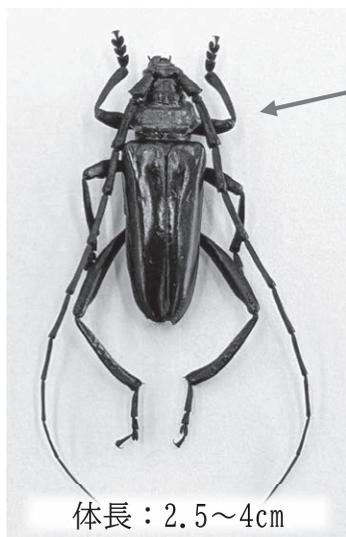


特定外来生物クビアカツヤカミキリ みつけたら教えてください！

今年7月にクビアカツヤカミキリの被害が京都市域で初確認されました。被害を防ぐためには早期発見が重要となりますので、被害の受けた木の発見や情報提供にご協力をお願いいたします。

クビアカツヤカミキリとは？

幼虫はサクラ、ウメ、モモなどバラ科の木を食い荒らす。非常に高い繁殖力をもつ。



成虫はからだ全体が黒く光沢があり、胸部（首）が赤い。

幼虫は木の幹からフラス（フンや木くず）を出す。



成虫またはフラスを発見されましたら、①～③の行動をお願いします。

- ① 成虫は踏みつぶして駆除
- ② 成虫またはフラスが出ている状況の写真をとる
- ③ 環境保全創造課への情報提供

※ 生きたまま持ち運ぶことは法律で規制されています。

詳細はこちら↓



ご不明点ございましたら、京都市環境保全創造課までご連絡ください。
(E-Mail : k-kyosei@city.kyoto.lg.jp / TEL : 075-222-3951)

京都府 京都未来の匠 「技の継承」事業

祇園祭各山鉾保存会や府内の神社、寺院が所有する文化資料の復元・新調等を通じて若手職人（京もの認定工芸士）等が京の名工等の指導を受けながら、高度かつ稀少な技術の修得・技術向上を目的とした技術の研鑽・修得を行う。平成二十一年度から、京都府と当会、神社庁、祇園祭山鉾連合会等が協力し行っている。

令和五年度 対象寺院

苗秀寺（亀岡市） 祠・仏像・厨子（復元修理）



* 各ご寺院ご連絡をお待ち申し上げます。
京都仏教会 TEL 075-223-6975

心とむひととき…… JUNSEI

名物ゆどうふ

南禅寺

清水順正おかべ家
清水寺門前……TEL (075) 541-7111
祇園円山かがり火
円山公園駐車場前…TEL (075) 541-0002

左京区南禅寺門前 TEL (075) 761-2311
FAX (075) 751-8812

京表具

表具全般 古書画修復

前田秀暁堂

〒604-8121
京都市中京区柳馬場通錦小路上る
TEL.FAX.075(221)5754

筆・墨・硯・紙・簡易表装・短冊
色紙・中国製筆・墨・硯・紙

株式会社 松煤園

〒600-8075
京都市下京区柳馬場通仏光寺下ル
電話 (075) 351-6380 (代表)
FAX (075) 361-8006



井筒授与品店

〒601-8348 京都市南区吉祥院観音堂町23番地
TEL 0120-075-820 FAX 0120-075-890

お墓の事ならなんなりと



石のカウンセラー

株式会社 石枝都

電話 (075) 491-4114 (代表)
FAX (075) 491-2426
京都市北区小山北玄以町24番地
(上賀茂橋西詰バス停前)



桑は京都の地域資源

生活習慣を見直し
ぜひお試しください。

桑葉には・・・
血糖値の上昇を抑える成分が、これは桑葉以外には見つかっていない成分です。

食物繊維といたたけた成分も含まれています。

生活習慣を見直し
ぜひお試しください。

農林水産省 経済産業省 認定

京都瑤桑 げんぼようそう

桑に関するお問い合わせは…

株式会社おのみやす本舗
TEL 075-791-1728 http://www.onomiyasu.co.jp
FAX 075-791-1745 info@onomiyasu.co.jp

寺院会費

当会もおかげさまをもちまして仏教諸行事、文化福祉、研究活動等順調にかつ積極的に推移してきております。これもひとえにご寺院各位のご理解ご協力の賜物と存じます。今後はますます京都が宗教都市として発展しつづけるために、布教・広宣を行い、また多様化する現代社会の情報提供や宗教学法に關する諸問題につきましてもお役に立てるようはかつて参りたいと存じます。つきましては通信費の一部として令和6年度分の会費を同封の郵便振替にてご納入の程、よろしくお願い申し上げます。

賛助会費

各界一般会員のみなさまにおかれましてはご健勝のことと存じます。平素は何かと本会の活動に対し、ご理解、ご協力賜り厚く御礼申し上げます。おかげをもちまして賛助会員につきましては年々増え続けておりまして有り難いことと存じます。当会も各界のみなさまとともにこの歴史と伝統のある京都において様々に交流や文化事業を通じ、よりよい京都に発展すべく努力して参りたいと存じます。当会の会報をお送り申し上げますことや諸行事のご案内をみなさまとの情報交換の場とし、今後も活動をしてゆきたいと存じます。各位におかれましては、なにとぞこの趣旨にご賛助賜り令和6年度分の賛助会費のご納入をよろしくお願い申し上げます。なおご納入は同封の郵便振替にてよろしくお願い申し上げます。

採燈大護摩供法要を
八月十六日より九月の
第四日曜日へ日程を変
更致しました。

今年は
九月二十二日(日)に
清水寺にて行います。

皆さまのお越しをお待
ち申し上げます。

発行日 令和六年八月一日

発行所 一般財団法人 京都仏教会

〒602-0898 京都市上京区今出川通
烏丸東入相國寺門前町
六三六一

電話 (075) 233-1697
FAX (075) 233-1697

印刷所 (株) 精巧社



世界の歴史都市、
京都の中央に位置し、
世界文化遺産「二条城」の前に佇む
ANA クラウンプラザホテル京都。

ANAクラウンプラザホテル京都
〒604-0055 京都市中京区堀川通二条城前
Tel 075-231-1155
www.anacpkkyoto.com

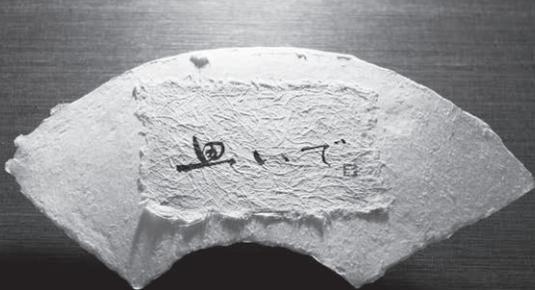
ANA CROWNE PLAZA KYOTO



伝統の心を映した古都のやすらぎ

ご宿泊や、おくつろぎのひとつに
また、会合などさまざまなお集まりに
お気軽にご利用ください。

京都 東急ホテル
〒600-8519 京都市下京区堀川通五条下ル(西本願寺北側)
Tel: 075-341-2411 Fax: 075-341-2488
www.tokyuhotels.co.jp/kyoto-h/



いま、心に響く京都。

京都ブライトンホテル
京都市上京区新町通中立売(御所西) TEL.075-441-4411(代)
https://kyoto.brightonhotels.co.jp/



The Prince Kyoto Takaragaike

Seibu Group
でかける人を、ほほえむ人へ。

洛北には、四季折々に
会いたい京都がある。

豊かな自然の中で、心ほどける時間をお過ごしください。

ザ・プリンス 京都宝ヶ池
TEL:075-712-1111
〒606-8505 京都府京都市左京区宝ヶ池



相談無料
見積無料
見学無料

明瞭価格
豊富なプラン
24時間365日対応

0120-004-200



葬儀
— 人生の終り、もうひとつの門出を美しく —

cerema
あんしん祭典

もよりの営業所へご連絡ください。(24時間営業)
寝台自動車のご用命も承ります。

京都営業所 ☎(075) 682-4444
宇治営業所 ☎(0774) 32-4242
高槻営業所 ☎(072) 682-1121
大津営業所 ☎(077) 524-4444
亀岡営業所 ☎(0771) 22-0042

24時間365日 無料受付 まずはお気軽に
お電話ください。 **0120-094-110** セレマ 検索

経済産業大臣認可/全日本葬祭業協同組合連合会加盟
京都中央葬祭業協同組合員名簿
http://www.kyosokyoku.jp/

信頼と安心の
全葬連 **葬祭サービスガイドライン**
●事前相談 ●サービス内容の説明 ●明瞭価格 ●アフターサービス
京葬協は、葬祭サービスガイドラインを遵守いたします

会社	代表者	電話	所在地	会社	代表者	電話	所在地
(株)まるいち	小林 正明	075-441-6254	上京区千本上立売通作庵町518	(株)宇治葬祭篤辰	木村 久孝	0774-31-8072	宇治市五ヶ庄芝の東53
(有)京都日葬	九谷田 拓司	075-811-4242	中京区西ノ京塚本町13-11	山城葬祭御現丸屋	小川 保善	0774-82-2064	綴喜郡井手町井手柏原83-2
(株)公益社	松井 雄	075-221-4000	中京区烏丸六角上饅頭屋町608	(有)花 福	福田 善文	0774-82-2016	綴喜郡井手町井手宮ノ本89
(株)京都セレモニー	松井 雄	075-221-8400	中京区烏丸六角上饅頭屋町608	(有)阪 口	阪口 正吾	0774-76-2146	木津川市加茂町西1-5-3
(株)公益サービスセンター	松井 信五	075-551-3422	東山区清閑寺山ノ内町46-2	平城公益(株)	西川 弘人	0774-72-5709	木津川市相楽鳥井7-1
篤政葬儀社	滝口 泰彦	075-691-0826	南区東九条北烏丸町14	(株)松本仏具店	松本 光雄	0771-22-0279	亀岡市安町86
(株)のじり葬儀店	野尻 義樹	075-611-4211	伏見区治部町123	(有)いちたに	一谷 昌道	0771-62-4949	南丹市園部町小山東町水無38
(株)山 長	山田 一	075-861-1422	右京区太秦西峰岡町1	(株)セレモニーまつだ	松田 政一	0772-46-2264	与謝郡与謝野町字弓木956
(株)アシス	岡本 研三	075-932-4242	向日市寺戸町西田中瀬3	おのえメモリアル(株)	尾上 雄紀	0772-42-5555	与謝郡与謝野町算所229-1
(有)城陽葬祭杉村	杉村 等	0774-52-2140	城陽市久世南垣内116	(株)令和 寺尾 純	0772-72-2002	京丹後市網野町網野3156	

最近のお葬式はどのように行われているか、また、費用はいくら位かかるか！？ など、お葬式の内容を知りたい方は、上記の各店へ電話でお問い合わせ下さい。

社寺建築 設計・施工

伸和建設株式会社

〒615-0007 京都市右京区西院上花田町21
TEL (075) 311-0054 (代)
FAX (075) 322-0152

税理士法人 古都

〒600-8431
京都市下京区綾小路通室町西入る
善長寺町139番地AMI四条烏丸ビル405号
TEL・FAX: 075 (352) 7778
E-mail: nakamasa@bridge.ocn.ne.jp



石 北尾石材
URL: www.good-stone.com
大原店 / 八潮店 / 市原野店 / 京北店
TEL. 075-781-9523 FAX. 075-781-0510
〒608-8225 京都市左京区東大路百萬遍上る東側

文化財建造物修復・社寺建築設計施工

園 木澤工務店

代表取締役 木澤善之

本 社 京都市左京区浄土寺真如町111番地-1
TEL (075) 751-0628 (代) FAX (075) 752-9430
営業所・工場 滋賀県愛知郡愛荘町中宿173番地
TEL (0749) 42-2859 (代) FAX (0749) 42-5727

絵画・墨蹟・一般表具 / 仏画・仏具修理 / 文化財調査

御本山御用達・京表具・古文化財保存修理研究所



www.koetsuan.com

浩悦庵

有限会社矢口浩悦庵

文化財 IPM
赤外線調査
高精細複製印刷

〒602-8025
京都市上京区衣棚通丸太町上る今薬屋町318番地
本社・工房 Tel. 075-254-6021 / Fax. 075-254-6022 東京営業所 Tel. 042-442-0177

お墓・樹木葬・霊園再生集団



株式会社 西鶴
千年オリーブの森

☎ 0120-21-1948
〒576-0061 大阪府交野市東倉治 2-1521
<https://e-saikaku.co.jp/>



ホームページ